

閉 幕 式 挨拶

学校法人二松学舎理事長 佐藤 保

浙江工商大学副学長 張 仁寿先生
浙江工商大学日本文化研究所所長 王 勇先生
浙江工商大学日本文化研究所副所長・
本シンポジウム開催責任者 王 宝平先生
浙江工商大学及び同大学日本文化研究所の諸先生
シンポジウム参加者の皆さん

最初に、二松学舎大学COEプログラム関係者及び今回のシンポジウムに参加したすべての人を代表して、国際学術シンポジウム「ブックロードと文化交流 日本漢文学の源流」の大成功を心からお慶び申し上げ、シンポジウムの準備と運営に多大の努力を重ねられた浙江工商大学日本文化研究所の諸先生に、深甚なる謝意を表明いたします。

シンポジウムは、佐藤進先生と王勇先生による基調講演に始まり、延べ43名の中国・台湾・日本・韓国・ベトナムなど、アジア各地域からの研究者が報告した八つの分科会、さらにイギリス・アメリカ・ベルギーなど欧米からの研究者をも加えたパネル・ディスカッション（総合討論会）が、2日間にわたって行われました。文字通り国際性豊かな、しかも極めてレベルの高い学術シンポジウムが開かれたと言えます。まことに知的興奮に満ちあふれた、すばらしい2日間でありました。

その昔、この地を訪れたマルコ・ポーロが「世界で最も美しい街」と讃えた杭州・西湖のほとりでの2日間は、私たち全員に忘れがたい思い出となって残るにちがいありません。唐の大詩人の白居易（楽天）は、杭州刺史の任期があけてこの地を去るとき、「西湖留別」の詩を作ったようでした。

处处迴頭尽堪恋 处处 頭を廻らせば 尽く恋うるに堪えたり

就中難別是湖邊 ^{なかんづく} 就中 別れ難きは 是れ湖邊

いたるところふり振り返り見れば 杭州のすべてが懐かしい
とりわけ別れがたいのは 西湖湖邊の風景だ
と。この別れがたい心情は、まさに私たちも同じです。

二松学舎大学21世紀COEは明年、日本で国際シンポジウムを開催する予定であります。しかも、明年の2007年は、二松学舎大学の創立130周年にも当たります。ぜひ皆さん、明年は日本においでください。

諸先生との再会を約して、閉幕式の挨拶と致します。ありがとうございました。